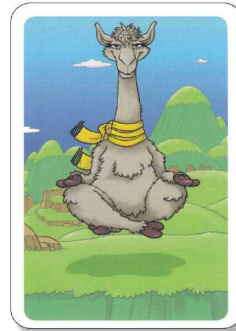


# JAGA:日本ゲーム協会会報誌『ジャガマガ』

JAGA: establishment in 1986  
JAGAMAGA was first published in 1988

## 第381号 2020.1.18



### 「ド・ラマカード」



「ラマ」  
2~6人  
8歳以上  
20分

「ラマ」の追加ルール用カードです。

ラマの手番では、「降りる」という選択肢がありますが、降りたプレイヤーはこのカードを取り、自分の前に置きます。すでに他のプレイヤーが持っていたらその人から受け取ります。ただし、一番最後に残ったプレイヤーは降りても受け取ることはできません。ラウンド終了時にこのカードを持っていたプレイヤーは、自分の手札から任意のカードを1枚捨てることができ、そのあとで失点計算をします。もし、カードを1枚捨てて手札を全て無くすことができたプレイヤーは、自分の失点チップを1枚返すことができます。この追加ルールにより「降りる」タイミングがより重要になり、その駆け引きが、ゲームをぐっと面白くしてくれます。

## Contents

JAGA からのお知らせ 1	編集部	2019 年を振り返る	小林徹
東京 JAGA 例会報告	めぐろ/宮崎/小林	ウイングスパンが4倍楽しめる野鳥うんちく	渡辺隆司
関西 JAGA 例会レポート	吹留牧人	荒野の素浪人	小林俊雄
2019年マイベストゲーム その1	皆さん	JAGA からのお知らせ 2	編集部

## JAGAからのお知らせ

編集部

### ラマ ミニ大会のお知らせ

2月例会で、クニツシア作「ラマ」のミニ大会を行います。

上で紹介している「ド・ラマ」カード（またはぬいぐるみ）を使った「ド・ラマ」バリエーションを採用予定。

14:30頃から開始予定です。

### 募集！2019年マイベストゲーム

JAGAMAGAでは、2019年のマイベストゲームを募集しています。

2019年にプレイしたものであれば、出版年は問いません。ゲーム名と、そのゲームを推す理由を教えてください。後日、メールで送ってもらうのでも結構です。

詳しくはスタッフ 小林(徹)まで。



# 東京JAGA例会報告

## ザ・クルー

めぐろえみこ

## ノコスダイス

今年のエッセンの来場者に1位で支持されたゲームで「協力型トリックテイキングゲーム」遊ぶことができました。

時間の都合で50のミッションのうち5つだけでしたが、面白さは格別でした。

協力型のトリックという、JAGAの畑岡さんが考案した「カムレド」という4人で協力してトリックをとるゲームがあります。カムレドは取るトリック数だけがテーマですが、このゲームは特定の人特定のカードを取る、取る順番も決まっているなど、細々としたミッション形式になっています。後の方になると、小さいカードでトリックを取ったり、大きなカードでトリックに負けたりというミッションもあるそうで、次に遊ぶのが楽しみで仕方ありません。

GPから日本語版が出るらしいのでこれは買うべきゲームでしょう。何度も遊べる良いゲームと思います。



秋のゲームマーケットで購入したゲームです。以前から評判のゲームとのことでトリックの好きな畑岡さんを交えて遊ぶことができました。ちょっと得点に誤解があってちゃんとは遊べなかったのですが、ダイスとカードを併用したトリックテイキングゲームというのは斬新なアイデアだと思います。

みんなでダイスをとりあって最後に1個残ったダイスの色と数字が切札カラーと切札数字になるという塩梅。

このトリックテイキングゲームも何度も遊べる良いゲームと思います。インディーズからメジャーになるだけのことはあります。



## タイニータウン

宮崎 靖也

4x4のマスの目に建物を建てて自分の町を作る小さな町づくりゲーム。コンセプトはシンプル。でも、結構手ごわいです。

建物は8種類。建物の種類ごとに、建てるための資材と配置が決まっており、資材を指示された種類と配置でマスに置くことにより、建物に変換することができます。

手番プレイヤーが5種類の資材の1種類を宣言し、すべてのプレイヤーは自分の町の4x4のマスのどこかにその資材を置かなければなりません。

うまく建物を建てる資材の種類と配置がクリア出来たら、資材を置いたマスのどこかに建物を配置します。資材は取り払われ、建物を置いたマス以外に再度資材を置くことができます。

変換できないような資材を置いて行くとどんどん置く場所が無くなって行き、建物と変換できない資材でマスが全部埋まったらゲームオーバーです。

建物による点数を合計し、変換できなかった資材のマス数をペナルティで引いて得点を競います。

面白いけど、とにかく難しいです。

確実に欲しい資材が手に入るのは自分の手番のみ、後は予想外の資材を悩みながら、今後どのように出てくるか予想して置いたり、なるべく邪魔にならない所に置いたりします。置くスペースはどんどんなくなってくるので不要な資源ばかり宣言された日にゃあ涙目になって来ますね。

同じ資源を置いていくのに何故か同じような配置にはならず、みな結構バラバラになります。まあ、その中の誰かが最も優れているのでしょうか。それは私ではなかったなあ。

建物は種類ごとにランダムに4枚から1枚が選ばれるため、組み合わせは結構多く、何度やっても同じような展開にはならないと思われます。時間もそんなにかからないし結構回数多く遊べるゲームではないかと思えますね。



## 小林 徹

### 地下迷宮と5つの部族

### 六角震災島脱出ゲーム

トリックテイキングに使う手札をVPを消費して購入します。手札に同じ数を集めるとVPになります。当然トリックは取りにくくなるというジレンマ。

トリックテイキングは奥が深いですね。



『カルカソンヌ・カタパルト』を彷彿させるアクションパカゲー。

逃げ惑うミープルを(物理的に)岩石が襲います。

小林俊雄さんが震える手でナイスヒット!

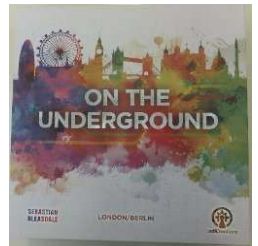
夕方からは投扇興大会が開催され17名参加、トータルでは26名参加。

初プレイゲームは以下の通り:

- ① On the Underground: 過去に「チューブに乗って」「メトロでGO」として販売されたらしい、ロンドン地下鉄がテーマのゲーム。今回はベルリン地下鉄を舞台にしたボードが合わせて販売されたので、ベルリン版が遊ばれました。
- ② アンクオール: 「宝石の煌き」を出した会社の新作。13枚のタイルを配置して、高得点を稼ぐマネージメント&タイル構築ゲーム。エジプトが舞台だそうです、しばらく遊ばれそうな雰囲気。
- ③ イシュタルバビロンの庭園: 噴水だけを使って、砂漠の真ん中に素晴らしい庭園を造るゲームだそうです。
- ④ キングドミノDUEL: キングドミノの要素を盛り込んで城を構成する、紙ペン形式の2人用ゲームです。
- ⑤ 天下鳴動: 時は戦国嵐の時代、武将となり日本の城をかけた決戦に挑む。3つのサイコロを使って軍勢の配置を行うようで、軽く遊べて2回プレイ。
- ⑥ ニムトボードゲーム: ご存知6ニムトシステムのボードゲーム版。記録を確認すると、6ニムトは96年2月に初プレイ、ボードニムトの名前のゲームが04年11月に遊ばれていますが、これと同じがよく覚えていません。10月号のJAGAMAGA表紙で紹介されています。
- ⑦ ノーザンパシフィック: ミネアポリスからシアトルを繋ぐ鉄道網の発展と、それを見越した投資を行うゲーム。各プレイヤーの選択が重要で、結構ガチでした。
- ⑧ パークス(PARKS): 北米でハードなキャンプを行うゲームだそうです。
- ⑨ メカニカ(Mechanica): AIに従ってお掃除ロボットを作っていただけなのに、いつの間にか殺人マシーンの部品を作らされていた、というゲームだそうです。

その他のプレイゲームは次の通り:

Welcome to Your Perfect Home、ラマ、WING SPAN X2、アクワイア X2、ギズモ(GIZMOS)、ヘックメック、ルクソール、センチュリーニューワールド、宝石の煌めき X2、村の人生、ロストシティ



アンクオール



イシュタルバビロンの庭園



ノーザンパシフィック

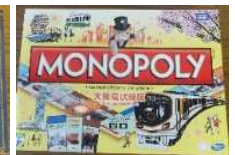
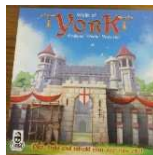


メカニカ (Mechanica)

### 11月例会の初プレイゲーム:

センチュリーニューワールド、CLIPCUT PARKS、メルクリウス、大阪環状線モノポリーは11月に報告済。

- ① ヴィンディケーション(Vindication): 漂流して知らない島にたどり着いた後、島を探索するそうです。
- ② サニーデイ(SUNNY DAY): 絵柄が一致するようにタイルを配置して、得点を集めます。絵柄が明るくていかにもサニーデイな雰囲気。
- ③ スクラッチオーケストラ: 動物のオーケストラカードを集めて演奏会を開くゲーム。
- ④ ビーンストーク: 軌道エレベーターのある島に、宇宙からの貿易品が落ちてくるので、それを集める。
- ⑤ ヨークの市壁: ダイスを用いて市壁を築き、ヴァイキングに対して強固に守られた街を作るゲーム。



### 投扇興大会:

優勝のM下さん、2位のAんだーさんは入賞の常連。3位のA川さんは初の入賞、新人賞はA海さん。蝶が扇と枕に挟まれた技は、うつせみと判定され15点でした。大技賞候補の「蓬生」は、入賞者が出たので賞としては無し。



# 2019年マイベストゲーム その1

「ゲームがたくさんありすぎて、何を遊べばいいのか分からない。身近なあの人のオススメを聞いてみよう！」という趣旨のこの企画。今回は集りが悪いですね。「その1」としたので、**まだまだ募集中！**あなたの昨年(でなくてもいいですが)のベストゲームを教えてください。(だいたい原稿到着順)

草場 純

## 1. リベルシ

16世紀スペインのトランプ48枚のゲーム。17世紀にフランスに渡って複雑化したが、昔のシンプルなルールが良い。



## 2. フォグサイト

出題側にもアクションのあるスフィンクス。

## 3. 掛合トランプ

島根県雲南市掛合に伝承するトランプゲーム。



## 4. スリーサーティーンスピード

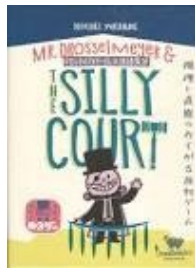
トランプ4組のゲーム。多人数でできるのが良い。

## 5. ケーキを作ろう

大人が遊んでも面白いキッズゲーム

## 6. ドロッセルマイヤーさんの法廷気分

ディベートがゲームになったよう。



## 7. ニワトリか라마か

これは斬新なアイデア

## 8. シックスティシックス

17世紀から遊ばれるドイツの32枚トランプゲーム。二人トランプゲームの傑作。

## 9. 囁きの館

双方アクションのある謎解きボードゲーム。

## 10. 愚かな牛

動物が回って行くのが面白い。

ベスト10を挙げてみました。1つに絞るならリベルシですかね。

あと、マードーミステリーは今年のゲームシーンでは落とせないと思います。多数のシナリオがありますしこれから出るでしょうが、どれも一回きりなので、全体で1つのゲームと考えてよいように私は思います。

あと、追加で、**フリット**はアブストラクトとしては安定した面白さがあると思います。**海鮮魚一ず、キャベツ鑑定、がんめんマン、赤い扉と殺人鬼の鍵、百貨店、エアシップシティ、ねぶたビート、マメイ、パール、支離滅裂、라마、すぐすごいヨガ、白雪姫のアップルルーレット、積み木の王子様**、などもいいですね。

諸隈 純

## 라마

月並みですが「라마」でしょうか。シンプルで子供から大人まで楽しめます。2020年はミニ・ゲーム大会の候補かな～。



めぐろえみこ

## ザ・クルー (Die Crew)

誰が何といっても「ザ・クルー」。これがベストです。5ミッションしか遊んでませんが傑作間違いなし。

トリックテイキングで協力型で簡単なミッションからクリアしていくこんなアイデアがこれまでで出なかったのも不思議。毎月遊びたいゲームですね。

畑岡 英男

## テラフォーミングマーズ (PC版)

本当はこれと言ってベストゲームは無いのですが、敢えて「邪道」を承知で挙げたのがこのゲームです。実はPC版を毎日の様にプレイしているので、今年最も遊んだゲームなのです。

三浦 吉永

## ザ・クルー (Die Crew)

2019年エッセン新作の「協力型トリックテイキングゲーム」です。

協力型と聞いて「どういうこと？」と思いましたが、決められたカード(黄色の7とか青の3)を決められたプレイヤー(AさんやBさん)がトリックで取るように、全員で協力するのです。Aさんに青の3を取らせるためには、青の3が出たトリックをAさんが勝てば良いわけです。そのために何をすれば良いのか?うーん、悩ましい。(あっ、そうそう、このゲームではしゃべってはいけません。)

他にも達成条件が色々あって全部で50種。順番に楽しめるようになっていきます。今のところドイツ語版だけ販売されていて、春ごろに英語版と日本語版が発売されるようです。3~5人でプレイできますが、人数は多いほうが面白いです。2019年末にプレイする機会を得ましたが、このゲームが一番インパクトがありました。



渡辺 隆司

## ウイングスパン

これだけ鳥が登場するゲームは初めてでしょう。野鳥がらみのゲームは少ないので貴重かと思えます。

日本の鳥バージョンが登場するのが楽しみです。

# 2019年を振り返る

小林 徹

2019(平成31→令和元)年は、JAGA33周年の年でした。ボードゲーム界も盛り上がっていましたが、(いろんな意味で)話題になったのは、『放課後さいころ倶楽部』のアニメ化でしょうか。

## イベント編

右表の黄色部は JAGA 例会内のミニ大会です。昨年も、2018年と同じく9回開催しました。

### ■ 新春パーティーゲーム大会

『クイズいいセン行きまSHOW!』で、「大沼さんの『ラプラス』改め『モザイク』はいくつ売れるか?」という問題を出したので、答え合わせをしないといけませんね。

### ■ ダイスダービー

「いつかやらねば」という積年の課題をようやくクリア。渾身の3ページレポートを、翌月のJAGAMAGAに掲載しました。

### ■ モザイク大会

『ラプラス』改め『モザイク』。この一年で、新しい名称も定着したようです。大会には、名人・南雲氏が降臨しましたが、まさかの準優勝。対戦回数によるポイントで順位を決定したので、長考は不利なのです。

### ■ 31大会

JAGA31周年の2017年大会以来のまさかの第2回は「さよなら平成31年」でした。次回は2031年でしょうか。

## ゲーム編

ホームページの例会報告に掲載している【プレイされたゲーム不完全リスト】のデータを元に、「例会出现頻度」をまとめたものです。あまり厳密なものではありませんが、「あったねえ」と懐かしんでください。例によって、『カルカソヌ』『ドミニオン』は「定番」として別枠にしています。

さて、常備ゲームが上位に来るのはまあ当然。

1位の『コンプレット』は2018年も2位でした。同年の1位は『パンデミック:レガシー』という、やや特殊なタイトルだったので、実質的には2年連続の1位と言って良いのではないのでしょうか。2位の『チームプレイ』はちょっと意外。あまり目立ちませんが、根強いファンがいるのでしょうか。そして3位に『ボブジテン』。昨年は、同じシステムの『カタカナーシ』や、お題カードを自作できる『わたしのボブジテン』も出ました。一発ネタゲームかと思いきや、長く愛好されています。

そのほか、昨年の後期によくプレイされていたのが『ウイングスパン』と『ラマ』。延べプレイ回数でカウントすれば、もっと上位にくるかもしれません。

続いてトランプゲーム。

2018年は1回もプレイされなかった『31』が復活し、予定外のミニ大会が開催されました。続く2作はクニツシア『ダイス・トランプゲーム集』から。



1月12日 ~14日	合宿 貸別荘「桜坂ガーデン」
1月26日	新春パーティーゲーム大会 優勝: 諸隈さん 準優勝: 石橋扶美枝さん
3月16日	ミューラ大会 優勝: 小林景さん
3月31日	JANAMI 立川・昭和記念公園
4月13日	ダイスダービー 優勝: 柳さん 最優秀騎手賞: 宮崎さん
5月11日	コンプレット大会 優勝: 小林俊雄さん 準優勝: 保科さん
6月8日	カルカソヌ日本選手権 予選会 代表: 溪和彦さん
7月13日	クリベッジ大会 優勝: 渡辺さん、準優勝: 小田さん
9月7日	ドミノ(カンテット)大会 優勝: 目黒 & 木村ペア
10月19日	モザイク大会 優勝: 桐原さん、準優勝: 南雲さん
11月16日	31大会 優勝: MUROさん、準優勝: 名越さん
12月8日	ワードバスケット名人戦 名人位: Rosaさん(防衛)



### 定番

カルカソヌ  
ドミニオン

### トランプゲーム

31	4回
カード狩り	2回
バベルの塔	2回

定番: クリベッジ

コンプレット	7回
チームプレイ	6回
ボブジテン	6回
ナンバーナイン	4回
ベガス	4回
レジスタンス: アヴァロン	4回
ワードバスケット	4回

# ウイングスパンが4倍楽しめる野鳥うんちく

今回は、バードウォッチング歴7年の私が経験したことをメインに紹介してみます。

渡辺 隆司

## 強いものイジメ?

弱い鳥が、自分より強い鳥に対して攻撃を仕掛けることがあります。モビングといい、カラスがタカに対して行うことが多いです。私は2回目のバードウォッチングで、ハシブトガラスがハイタカに対してモビングをするのを見ました。その時は『スゲーの見た!』と感動したんですが、その後何度もモビングは見られました。実際にはそれほど珍しいことでもないようです。

## 本当は恐ろしいカワセミ

人気のカワセミ。意外に小さくスズメくらいです。結構な頻度で魚を捕まえますが、魚も必死にバタバタ暴れます。するとカワセミは『魚を木に叩きつけて』動かなくなってから丸呑みします。見た目に反してやることはえげつない。

ちなみにくちばしは黒いですが、メスのみ下が赤くなっています。『メスは口紅を塗っている』と覚えます。埼玉県の『川の博物館』にあったカワセミのイラスト、メスはリボンが付いていて(本物のカワセミにはついていません)それは許せますが、くちばしが真っ黒なのは気になりました。

## 命がけの見切り

小鳥って、危険な鳥に対して当然逃げますが、安全な場合は逃げません。例えばトビ。れっきとしたタカの仲間で、見た目もけっこう怖いんですが、他の鳥を襲うことはまれです。ですので、トビがいても小鳥は逃げません。ちゃんと分かるんですね。

逆に、オオタカなどがいると、カモ類は警戒し逃げます。カモの様子で『あれ、どっかにタカがいる?』と分かるくらいです。ですが、オオタカがいるのにカモが逃げなかったことが一度だけありました。それは『オオタカがカモを仕留め食べている時』です。『仲間を喰っている最中なので今は自分を襲わない』と、カモは分かるんですね。これ、衝撃的で野生って残酷で凄いなと感動しました。アフリカのシマウマとかも同じなんではいっしょか?

## 日本の国鳥は?

知っている人って少ないでしょうね。桃太郎でおなじみのキジです。私、キジって山奥にいる鳥だと思っていたんですが、自宅から歩いて行ける多摩川の武蔵小杉サイドの土手にいました。こんな近くにいるなんて驚きです。

## 鳥の鳴き声に反応

バードウォッチングって、耳を澄ませ鳥の鳴き声を聴くことから始まります。鳴き声が聴こえると、回りの人から『コゲラの声?』とか聞こえ、皆で声の主を探す、こんな感じです。

ですが以前、コゲラの声が聴こえまくったのに周りの人が誰も反応せず『なんで? こんなに聞こえるのに?』と違和感を感じたことがあります。ずばりそれはJAGAの花見の時なんですけど、まあ普通の人はずいぶん(笑)

## 国旗の鳥たち

世界の国旗には、鳥が描かれている物が少なくありません。

やはり強いイメージの猛禽が人気で、ワシはオーストリアの政府旗、エジプト、モルドバ、メキシコ等。メキシコでコンドルだと思っていたけど実はワシでした(今回知った)。これとは別に双頭のワシもあり、アルバニア、セルビア、モンテネグロ等。変わったところではバプアニューギニアの極楽鳥、グアテマラのケツァール。グアテマラは通貨の単位もケツァールが由来のケツァルです。すげーな。

## 鳥が入った駅名

暇な時、首都圏路線図を眺めながら鳥が入った駅名を探したことがあります。想像以上にありますね。三鷹、鶴見、鶯谷、巣鴨、流山おおたかの森、千鳥町、ひばりが丘、めじろ台、鳩ノ巣、鷺ノ宮、鳩沼(くげぬま)。きりがありません。

ちなみに東京 JAGA 会場の目黒も、メグロという鳥がいますので鳥の名前です。メグロは小笠原諸島にいる鳥で、スズメ目メジロ科メグロ属。シロなんだカクロなんだか紛らわしいです。

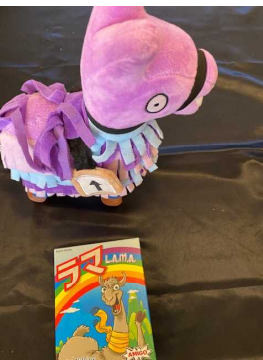
## 最後に . . .

いろいろウンチクを書きましたが、本当に『ウイングスパンが何倍にも楽しめる』のは、実際にバードウォッチングをすることでしょね。動物園と違って、何が見られるかわかりません。また行く季節や場所によっていろいろ楽しめます。だらだら歩くので、身体にもいいです。

ただ、初心者が鳥がいる場所に行っても鳥の探し方が分かりません。ネットで『探鳥会』というワードで探せば、近くで開催されるバードウォッチングの集まりが見つかるかと思います。ちなみにバードウォッチングに最適な季節は、葉っぱが落ちて見やすくなる冬です。興味があったら参加されてはいかがでしょう?

# 荒野の素浪人

あるいは人生の冬休み  
小林俊雄



恒例の正月JAGA合宿に行ってきた。今回は熱海です。行きの小田急ロマンスカーでさっそく紙ペンゲームを遊ぶ。古今南北なんかやったんですけど、それでわかったのはもはや紙ペンゲームに紙とペンは必要ないということ。スマートフォンのメモ機能でこと足ります。紙ペンのデジタル化と申しませうか。宿ではクリベッジとあとやたらと「ラマ」を遊んだね。「ド・ラマ」カードの代わりにぬいぐるみを買

ったよ。今度の大会の賞品にしましよ

## 【会社を辞めてわかること】

会社を辞めた話は先月書いた。あれから絶賛失業中である。上司からは「コバヤシさん、バイトで働いてくれない？」と言われたが、ニッコリ笑って「辞めます」。考えてみたら40数年間で「辞める」と言ったのは初めてだ。そんなわけで学生の時にも体験しなかった浪人生活というのを送っている。かれこれ一ヶ月半になる。働かなくていいのは楽しい。楽しすぎる。でもまあ就職活動はしないとな。いったい自分は何がしたいのか、いやそれよりなにができるのか、改めて考えてしまう日々である。

で、こんなことがわかった。

・曜日の感覚がなくなる

まあそりゃそうだね。私はあまりテレビを見ないのでよくいにわからなくなる。

・本が読めなくなる

びっくりするくらい読書量が減った。積ん読がたまるたまる。結局通勤時間に本を読んでいたのだなあと痛感。

・生活が不規則になる

今までは「林先生の言葉検定」には起きていたのだが、おなじTV朝日でも「グッド・モーニング」じゃなく「羽鳥慎一のモーニング・ショー」にシフトしてしまいました。

・新聞を読まない日が時々ある

「そういえば昨日の新聞読んでなかったな」ということがある。つまりは日常のルーティーン・ワークというものが薄くなっていくのですね。これも不規則な生活の副産物でしょうか。

・OA機器が使えない

これが一番困る。プリンタ、スキャナー、コピー。それとパソコン。パソコンは自宅にもあるけど何かと不便。

たとえば会社にいたときエクセルで作った履歴書、自宅のWindows7マシンはなぜかエクセルが入ってなくて(あったはずなだけけど)ビューワーしかない。印刷はできるが加工ができない。それじゃあってんでiMacに移してNumbers(iMac標準装備の表計算ソフト。エクセルファイルは自動的にこれに変換される)で開いて加工、ふたたびWindowsに移動して印刷しようとする、すでにNumbersファイルに変わっているのだから開けない。印刷できない。あーややこし。

・身だしなみに無頓着になる

勤めていたころは、もちろんスーツでワイシャツも毎日着替えていたのだが、もっばらどうでもいいズボンに上はパーカー。着替えてはいるんだがローテーションがよくわからない。ひげもあんまり剃らなくなる(こらこら)。

・出費が増大

収入がないのに支出だけしてどうする。一番大きいのは交通費ですね。12月半ばで通勤定期が切れてしまったのでどこへ行くにも交通費がかかる。驚くほどかかる。Suicaでクレジットのオートチャージなので来月の請求が怖い。

・映画三昧

なにしろ毎日が日曜日だ。そりゃ毎日のように映画館通いだ。会社を辞めた直後は「今までは週末にまとめて二本三本観てたけど、毎日観られるんならゆったり一日一本でいいや」なんて思ってたがこれがお一まちがい。映画料金に交通費が上乗せされるので、一本あたりの鑑賞料金を低く抑えようと思ったら新宿やら池袋に行ったら複数こなさなきゃならん。誤算だった。

## 【床屋の快感】

上野にいたころは会社の近くのいわゆるカット専門店に散髪していた。私の頭は基本長さ1mmの坊主頭なので、二週間にいっぺんは行かなくてはならぬ。一回1,200円。

上野を離れたので地元で探すことにした。ひげもぼうぼうだから、この際だカットの店ではなくちゃんとした床屋でひげもあたってもらうことにする。ところが2~3軒まわったらあっちもこっちも予約でいっぱい。そういうものなのか。

ようやく見つけたのはヤング軒という身もふたもセンスもない名前の店。ガラガラです。予約で埋まっている店とどこが違うんだろう(ちょっと怖い)。



まずは頭にバリカンを入れてもらう。これはカットハウスといっしょですね。次に前掛けを防水仕様のものにとりかえて頭を洗ってもらう。今時のシャンプーというのはスプレーなんですね。知らなんだ。ゴシゴシワシャワシャ。十数年ぶりのひよっとすると二十年以上ぶりの快感。誰かになんかしてもらうというのはこんなに気持ちのいいものだったか。前の洗面台でザバザバゆすいでくれる。なんかいいにおいのもつけてもらう。

さあ、いよいよひげ剃りだ。「ひげをする」というのは験が悪いのでここは「ひげをあたる」ですな。なんだかわからないクリームみたいなもの塗りたくられて、おまじかんの蒸したオルタイム。そのあとシェービングフォームがありまして、それで終わりではありません。この「塗る」「蒸す」「泡る」の波状攻撃が続いて、いよいよカミソリの出番であります。すっちゃかすっちゃか革のベルトみたいなので長刃のカミソリを研ぐ(江戸時代からあるのではなからうか)。ぞりぞり剃ってゆくのだが、これがもう懇切丁寧というのかなんというのか、ここはどうだあそこはどうだ、各箇所をほじくるように「剃り残し許すまじ」とばかりに剃りまくる。「執念」という言葉すら浮かぶ。「ん？ん？ん？ここか？ん？ん？ん？そこか？」、いいかげんもういいよというくらいほじり剃る。

さあ、さっぱりしてお肌もとるつとるでなんかいいにおいがしてお会計は？ 3,850円だそうです(バリカンなので少し安い)。カットハウスの三倍以上だけど、この快感はなあ。

# JAGAからのお知らせ

## これからの例会予定

	東京 13:00~20:00	大阪 10:00~20:30	群馬 13:00~21:00	
1月	1/18(土)	1/11(土)	1/5(日)	1/18(土)
2月	2/15(土)	2/1(土)	2/2(日)	2/15(土)
3月	3/14(土)	3/7(土)	3/1(日)	3/21(土)
4月	4/11(土)	4/4(土)		
5月	5/9(土)	5/9(土)		
6月	6/13(土)	6/6(土)		

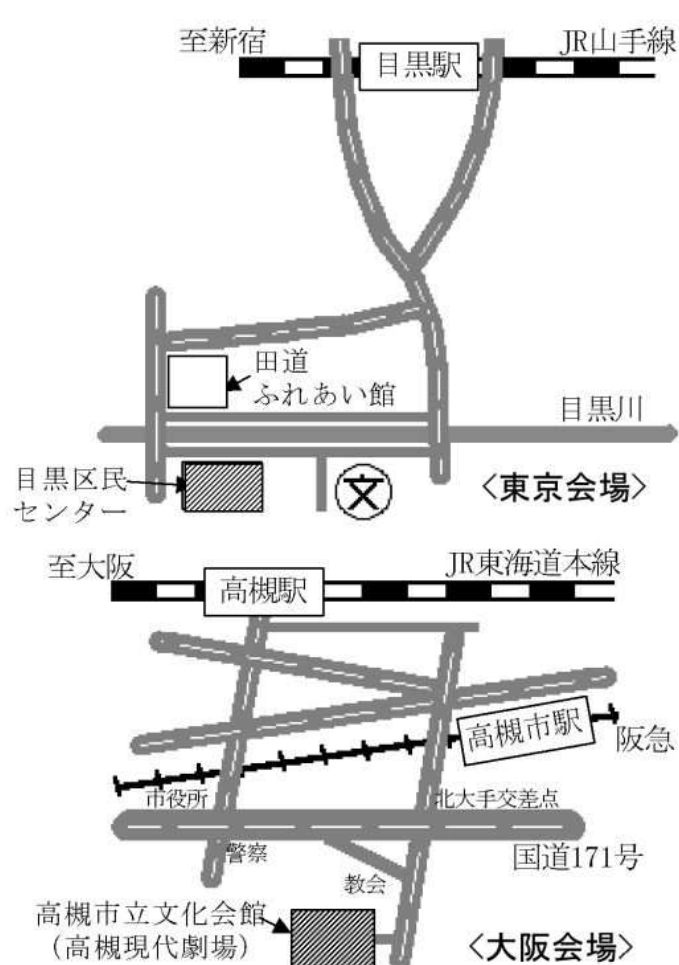
### <東京>

- ・会場：目黒区民センター 5階会議室
- ・お問合せ：メビウスゲームズ (03-3815-5956)
- ・JAGAホームページ：  
<http://jaga-tokyo.com/>

### <大阪>

- ・会場：高槻現代劇場 306号室（原則）  
\* 部屋は変更の可能性もあるので、都度ご確認下さい。  
<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/bunka/theater/cs/access.html>
- ・お問合せ：高崎
- ・関西JAGAホームページ：  
<http://www37.atwiki.jp/wjaga/>

## 会場のご案内



## クリベッジ回覧板 (2020/1)

諸隈 純

2020年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、年頭にあたり今年の目標をいくつか挙げてみようかな～と思います。勿論、クリベッジに関するものに絞ってです。かなり「夢(シャレ)」を盛り込んでみました。

### 1) クリベッジ経験者倍増!!

現状JAGAクリベッジレイティングリストには35名のプレイヤーが登録されています。「倍増計画」ですから、これを「70名以上にする」ですね。

### 2) クリベッジ・ジュニア選手権開催

これもまた夢ですね。20歳未満のプレイヤーを対象にジュニア選手権をやれればと思ってます。

### 3) クリベッジ日本選手権開催

これは目標としては最終目標になるのでしょうかね。

参加人数は別として、どこかで「全日本選手権」と銘打って大会を開催してみたい!! 今や私の人生の目標になりつつあるのかも。

番外編) 漫画「放課後さいころ倶楽部」でクリベッジを採り上げてもらう。

勝手に思ってるだけです。それを境に若者ゲーム・ファンに「クリベッジ・ブーム」が巻き起こり先に挙げた目標がクリアされていく!! なんと他力本願なので、「番外編」としました!!

途方もない夢を上げてみました!!

### JAGA Cribbage Rating List (1月)

No.	Name	Rating
1	諸隈 純	2,150
2	小林 俊雄	1,980

全リストトップ	2,150
過去最高 (2019/5)	2,185

## 編集後記

全盲の男性が監督として短編SF映画を撮る、というドキュメンタリー映画を観ました(昨年春に公開されたものの短期再上映です)。その中で監督さんが、指を鳴らした反響で部屋の大きさを把握するとか、周囲の音をスキャンして風船を膨らませるように認識範囲を広げていくとか、の様子(コウモリみたい)が、単純にすごいと思いました。

(S)

**JAGAMAGA 381号**  
2020年 1月 18日発行  
発行人: JAGA